

教育部長マニフェスト

教育部長 尾野 晋一

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

私の思い

平成 27 年 4 月 1 日施行の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」は、教育委員会制度の改革を図るもので、その内容は教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」の設置や教育長へのチェック機能の強化と会議の透明化、総合教育会議の設置、市長による教育に関する「大綱」の策定などであります。昨年 5 月、市長が招集された第 1 回柏原市総合教育会議で、「柏原市教育振興基本計画」が教育に関する「大綱」



に定められ、市の教育政策に関する方向性が教育委員会と同じであることが確定しました。更に平成 28 年度では、市長が議会の同意を得て新教育長を任命することで、教育委員会はより迅速な危機管理体制の構築と教育委員会の審議の活性化に向けた取り組み等を進めます。なお教育委員会は、引き続き執行機関であり、これまでと同様に政治的中立性は確保されます。

教育委員会事務局は、平成 27 年度から「教育部」の 1 部制へ組織を改編し、教育総務課、社会教育課、文化財課、スポーツ推進課、公民館、図書館、学務課、指導課、幼稚園及び小・中学校から構成され、教育部長と教育監（部長級）の職を設置しました。この組織の改編により、教育部内の各課の連携を強化し、それぞれの所管事業に一部制のメリットをさらに生かしてまいります。

平成 28 年度の主な取り組みとしましては、学校教育では学力・学習状況調査等の結果の向上を含む学力向上、学校施設一体型一貫校の推進を含む特色ある幼小中一貫教育推進事業に向けた取り組みなどを優先課題として進めます。一方で、竜田古道の里山公園内に開設する自然体験学習施設を野外活動の拠点として活用し、新たなスポーツ施設の整備や文化財保護の推進など生涯学習の充実に努めます。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

重点課題

- ① 子どもたちの確かな学力の確立
- ② 教育環境の整備
- ③ 教育機会の均等と確保
- ④ 青少年の健全育成
- ⑤ スポーツの振興
- ⑥ 生涯学習の充実

① 子どもたちの確かな学力の確立

(作成日) 平成 28 年 4 月 2 2 日

遂行目標

昨年実施しました「学校教育に関するアンケート調査（満足度調査）」では、「基礎学力を付け、学習意欲を高める取組み」に関しては、満足度が高いとは言えない結果でありました。また、今年 1 月の「柏原市市民意識調査」でも、「教育指導」に関して重要度に比べ満足度が低いとの結果から、学力向上を大きな教育課題として位置づけ、平成 28 年度の学校教育に係る基本目標を「柏原の教育力の向上に向けて 一人ひとりに確かな学力を育むために」と定め、その達成に向けた取組みを進めます。

- 教員の授業力や児童・生徒の学習意欲の向上を目指します。
- ・全小・中学校が取り組む学力向上策として、今年度から 3 年間の「かしわらっ子はぐくみプラン（学力向上編）」を策定します。
- ・全小中学校で学習習慣の定着と基礎学力向上のため、放課後学習支援事業（SAS 事業など）を充実させます。
- ・教員の経験年数に応じた研修を実施します。
- ・中学校での塾講師（学力向上推進講師）等による補習事業等を実施します。

(作成日) 平成 28 年 4 月 2 2 日

アウトプット（活動指標）

- 今年度から小学 1 年生から 6 年生全員を対象に学力状況などを把握するため「かしわらっ子はぐくみテスト」を実施します。
- 学力向上への組織体制確立のため「学力向上対策委員会」及び「学力向上推進委員会」を設置し、各小・中学校ごとに実施計画を立て、その取組を進めます。
- 小学校全校で「柏原市スタディ・アフター・スクール事業（SAS）」の指導内容を充実して実施します。
- 民間教育産業の人材（塾講師）や教材、資料の活用を推進します。
- ・中学校 6 校で、塾講師（学力向上推進講師）や学力向上推進補助指導員による補習事業を対象学年や科目を各校の実情に応じて実施します。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトカム (成果指標)

- 全国学力・学習状況調査やチャレンジテストの各教科・区分における本市の平均正答率が、大阪府の平均正答率を上回ります。
- 市民意識調査における「教育指導」の集計結果
満足度 \geq 重要度

② 教育環境の整備

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

遂行目標

子どもたちが、安全・安心な質の高い空間で学び、生活ができるよう、いじめ問題を含め、学校内外における安全・安心の確保に努めることが必要です。そのため、児童・生徒が安心して学校生活を送れるよう、また保護者や学校支援ボランティア、地域の関係団体の協力を得て、安全確保のための方策を講じます。また、耐震化工事などによる安全な施設環境の構築や学校の適正規模化など教育環境の質的向上を図ります。

- いじめ問題等へは実態把握に努めるとともに徹底した啓発・啓蒙を行い、学校と教育委員会が連携する体制を更に進めます。
- 安全、安心な学校施設の環境整備を引き続き進めます。
- 市立小・中学校の適正規模・適正配置に向けた将来的な基本方針を策定します。
- 柏原中学校区学校施設統合整備事業の今後の取組みを明示します。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトプット（活動指標）

- 全児童・生徒を対象にいじめ等の実態把握のため、市で統一した「柏原市立小中学校生活のアンケート」を年2回実施します。
- 柏原小学校及び柏原東小学校の校舎の耐震化工事、小・中学校の特別室などの空調設備の設置工事を進めます。
- 市立小・中学校の適正規模・適正配置に向けた考え方や今後の方向性を示した基本方針をこの秋までに策定します。
- 柏原中学校区学校施設統合整備事業について、基本構想、基本計画及び PFI 事業に係る可能性調査の結果を受けての今後の取組みを明示します。
- 堅上小学校及び堅下南小学校へ遠隔地から通学する児童を対象にスクールバスの運行を継続します。
- 「次世代教育を考える会」を継続します。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトカム (成果指標)

- 学校アンケートにおける「学校へ行くのが楽しい」児童・生徒を増やします。
- 市民意識調査における「教育環境」の集計結果
満足度 \geq 重要度

③ 教育機会の均等と確保

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

遂行目標

教育の機会は、全ての子どもたちに保障することが求められています。支援を必要とする子どもには、障がいの状況に応じて、一人ひとりのニーズに対する適切な教育を進めます。また、経済的な理由によって就学が難しい子どもの保護者に対して、必要な援助を行い、適切かつ迅速な就学支援に努めます。

○ 「いじめ」、「不登校」及び「支援教育」について、適切な支援や配慮が可能となるよう臨床心理士であるスクールカウンセラー（SC）や子ども支援教育専門相談員による相談体制を継続します。

○ 不登校児童・生徒に対し、適応指導教室においてカウンセリングや学習支援などを行います。

○ 障がいのある子どもたちの移動、日常生活の介助及び学習面を支援します。

○ 就学援助費や支援教育就学奨励費をそれぞれの基準に基づき、速やかに支援を実施します。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトプット（活動指標）

○ 小学校のスクールカウンセラー（SC）及び子ども支援教育相談員による相談を教育研究所だけでなく小学校への巡回相談を合わせて384回実施します。

○ 小学校・中学校へ必要な介助員を適正に配置します。

○ 就学援助費のうち、昨年度までの中学1年生の「新入学学用品費」を今年度から小学6年生に「中学校入学準備金」として支給します。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトカム（成果指標）

○ 児童や保護者などが抱える不安や悩みの解消に努めます。

○ 障がいをお持ちの児童・生徒の保護者の負担を軽減します。

○ 就学援助などが必要な保護者へ支援を実施します。

④ 青少年の健全育成

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

遂行目標

「地域の子は、地域で育てる」の意識を高めて、青少年がたくましく健やかに成長することを目標に、学校、家庭及び地域社会が一体となり青少年の育成を進めます。

- 子どもの安全の確保や青少年健全育成活動の推進します。
- 青少年講座の充実します。
 - ・ 青少年講座を市内の大学と連携して開催します。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトプット (活動指標)

- 「放課後子ども教室」を市内全小学校 10 校及び 1 団体で実施し、その参加者数を昨年度実績以上とします。
- 青少年講座を主催し、その受講者数を昨年度実績以上とします。
- 社会教育団体や青少年育成団体等が行う事業を支援します。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトカム (成果指標)

子どもたちが地域とのつながりの中で健全に育つまちの実現を目指します。

- 市民意識調査における「青少年の健全育成」の集計結果
満足度 ≥ 重要度

⑤ スポーツの振興

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

遂行目標

市民の健康への関心が高まる中、スポーツによる健康増進を図るため、スポーツが健康増進や体力向上にもたらす効果など、スポーツの重要性に関する情報を市民へ提供するとともに、誰もが身近な地域で気軽にスポーツに親しむことができる機会づくりや、新たなスポーツの普及を目指します。また、新たなスポーツ施設の整備に向けた事業を進めます。

- 市民のスポーツへの参加を推進します。
 - ・第4回スポーツフェスティバル in 柏原や2017柏原シティキャンパスマラソン、柏原市チャレンジデー2016を開催します。
 - ・関係部局と連携し、サイクルスポーツの普及に向け、取り組みます。
- スポーツ環境の充実します。
 - ・法善寺地区内に（仮）恩智川多目的遊水地市民スポーツ広場を平成30年度開場に向け、設置を進めます。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトプット（活動指標）

- 第4回スポーツフェスティバル in 柏原への参加者を昨年度実績以上とします。
- 2017柏原シティキャンパスマラソンへの参加者を昨年度実績以上とします。
- 柏原市チャレンジデー2016への市民参加率を昨年度実績以上とします。
- （仮）恩智川多目的遊水地市民スポーツ広場での使用可能な競技種目を決定し、測量・設計を行います。合わせて、市民対象に利用に関するアンケート調査を実施します。
- 運動広場や体育施設の柔軟な管理・運営を図ります。
- 市立体育館での多彩なスポーツ教室を開催し、その参加者を昨年度実績以上とします。
- 学校体育施設の利用者を昨年度実績以上とします。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトカム（成果指標）

市民が気軽にスポーツを楽しむ環境づくりに努めます。

○ 市民意識調査における「スポーツ振興」の集計結果
満足度 \geq 重要度

⑥ 生涯学習の充実

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

遂行目標

全ての世代のライフステージや市民ニーズに応じた多様な学習の内容や環境を整えるとともに、学習により習得した知識や技術を地域に還元できる地域社会を目指し、ライフステージに応じた多様な学習機会を提供します。

- 社会教育施設を使用した生涯学習を推進します。
 - ・ 指定管理者による自然体験学習施設（スマイルランド）と竜田古道の里山公園の一体的な管理・運営を実施します。
- 公民館の活用を進めます。
- 図書館の活用を進めます。
- 文化財の保存、整備及び活用を進めます。
 - ・ 史跡鳥坂寺跡地公有化事業を進めます。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトプット (活動指標)

- 自然体験学習施設を活用した事業を実施します。
 - ・ 自然体験学習施設 利用者数：18,000人以上
 - ・ 竜田古道の里山公園 来園者数：昨年度実績以上
- 多様なニーズに応じた公民館講座を開催します。
 - ・ 公民館講座 受講者数：450人以上
 - ・ 市民文化祭 参加者数：15,000人以上
- 図書館利用者数等と拡大します。
 - ・ 図書貸出冊数：450,000冊以上
 - ・ 貸出人数：125,000人以上
- 幼児向けの「お話し会」や「紙芝居等」を始め、多様なニーズに対応した図書館行事を開催します。
 - ・ 「お話し会」及び「紙芝居等」の参加者数：1,800人以上
- 市民文化会館（リビエールホール）を利用した市民参加型イベントを開催します。
 - ・ リビエールホールでの市民参加型イベントへの参加者数：7,000人以上
- 歴史資料館の企画展や史跡高井田横穴の特別公開を実施します。
 - ・ 歴史資料館来場者：18,000人以上
 - ・ 史跡高井田横穴特別公開参加者：300人以上
- 国の史跡に指定された鳥坂寺跡地民有地のうち約2,064㎡を公有地化します。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトカム (成果指標)

- 誰もが気軽に学習ができる環境づくりに努めます。
- 市民意識調査における「生涯学習」の集計結果
満足度 ≥ 重要度